

白山の火山活動解説資料

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

本日（16日）一時的な地震の増加が見られましたが、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

活動概況

- 地震や微動の発生状況（図 2～5、表 1）

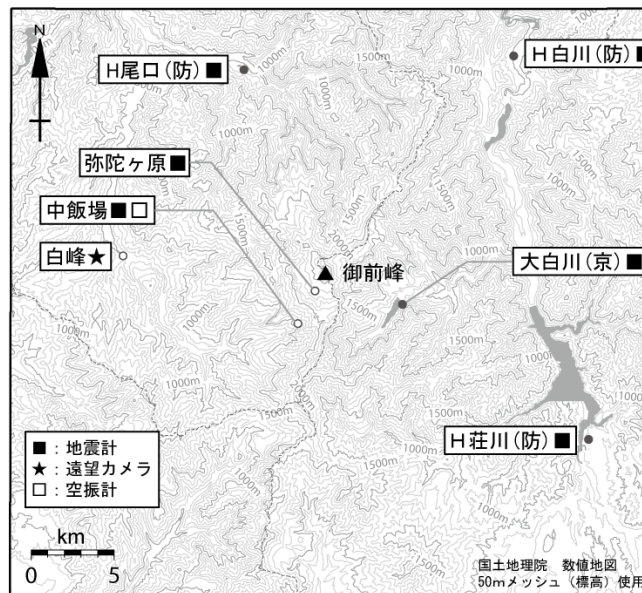
12月16日01時32分頃に、山頂付近の深さ約3kmを震源とするマグニチュード（M）3.4¹⁾の地震が発生し、石川県白山市別宮町、白山市白峰、福井県大野市朝日、岐阜県高山市荘川町で震度1を観測しました。これを含めて地震が一時的に増加しましたが、その後、減少しています。低周波地震や火山性微動は観測されていません。

白山では、これまでも浅部を震源とする地震が一時的に多発することがあります。最近では、2013年1月31日20時42分のM3.3、2月1日15時19分のM3.4の地震が発生した際に、地震活動が一時的に多発しました。

- 噴気など表面現象の状況

白峰遠望カメラ（白山山頂の西約12km）による観測では、視界不良のため噴煙の状況は不明です。

1) マグニチュード（M）の値は暫定値で、後日変更することがあります。



小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
（防）：防災科学技術研究所、（京）：京都大学防災研究所

図 1 白山 観測点配置図

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、京都大学、東京大学、名古屋大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

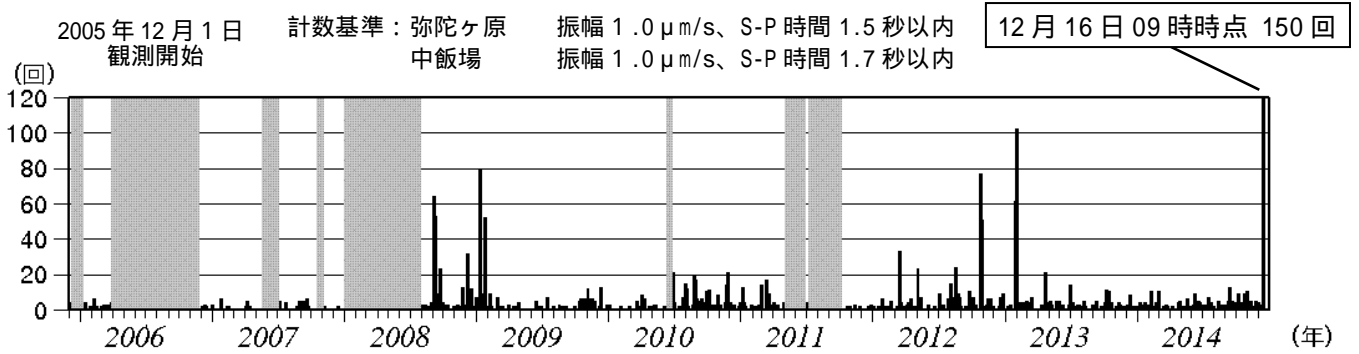


図 2 白山 日別地震回数（2005 年 12 月 1 日～2014 年 12 月 16 日 09 時。速報値含む）

- ・ 2011 年 9 月 30 日までは弥陀ヶ原観測点による観測
- ・ 2011 年 10 月 1 日からは、中飯場観測点による観測
- ・ 図の灰色部分は機器障害による欠測期間

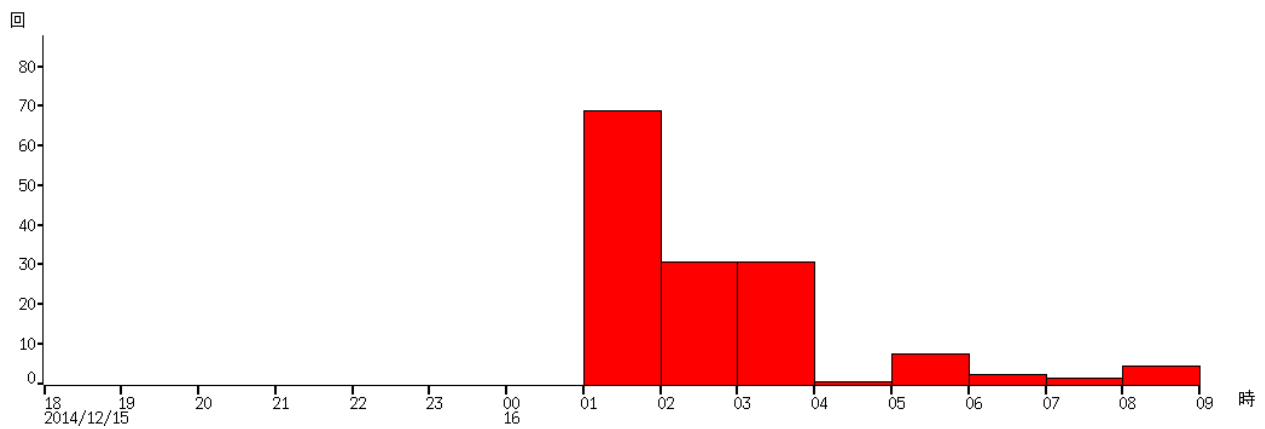


図 3 白山 時間別地震回数（2014 年 12 月 15 日 18 時～16 日 09 時。速報値）

12 月 16 日 01 時 32 分頃に M3.4 の地震が発生しました。これを含めて地震が一時的に増加しましたが、その後、減少しています。

表 1 白山 時間別地震回数表（2014 年 12 月 15 日 18 時～16 日 09 時。速報値）

	12月15日						12月16日								
時	18	19	20	21	22	23	0	1	2	3	4	5	6	7	8
回数	0	0	0	0	0	0	0	69	31	31	1	8	3	2	5

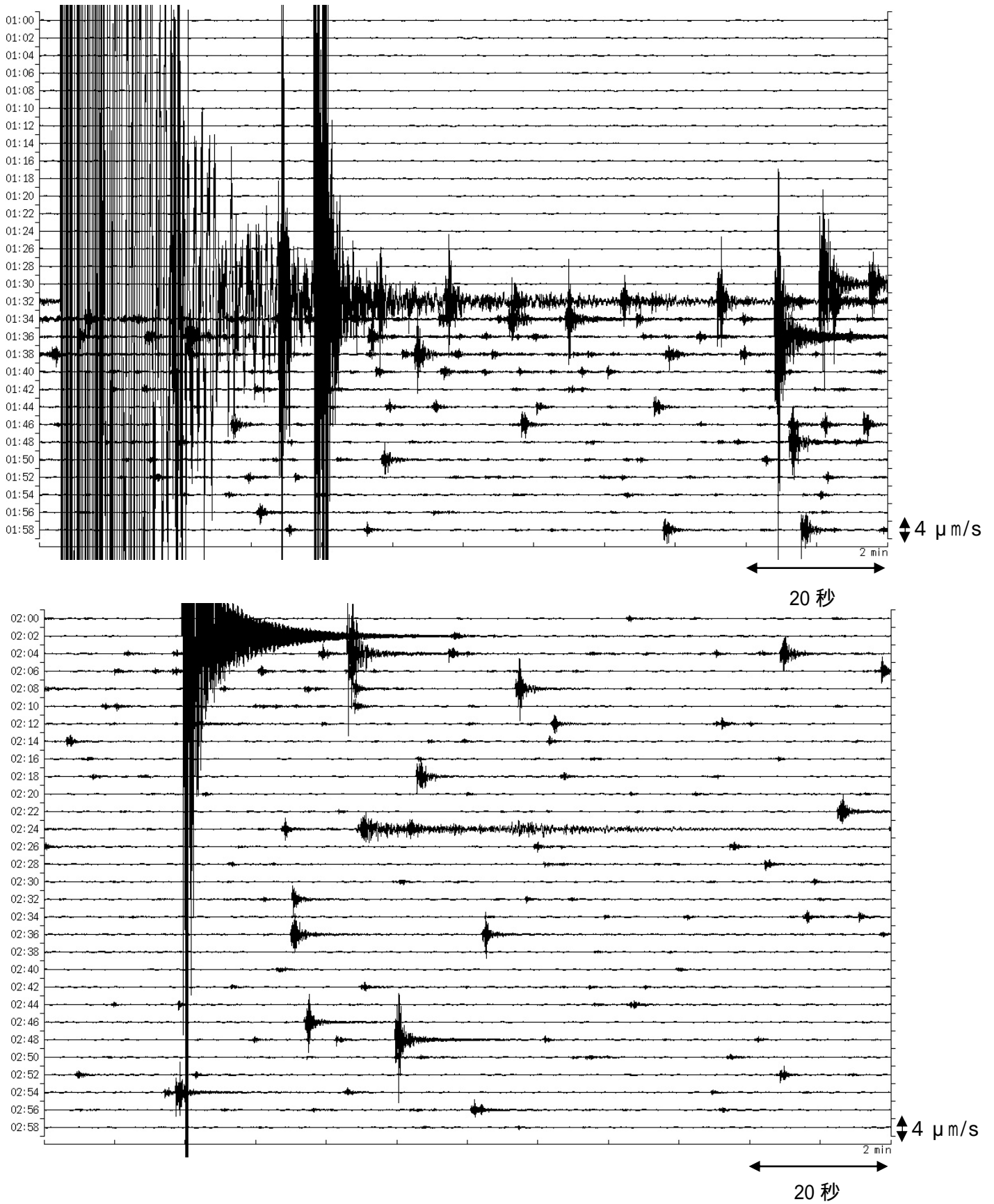


図 4 白山 弥陀ヶ原上下速度波形 2014 年 12 月 16 日 01 時 00 分～03 時 00 分
12 月 16 日 01 時 32 分頃に M3.4 の地震が発生しました。これを含めて地震が一時的に増加しましたが、その後、減少しています。

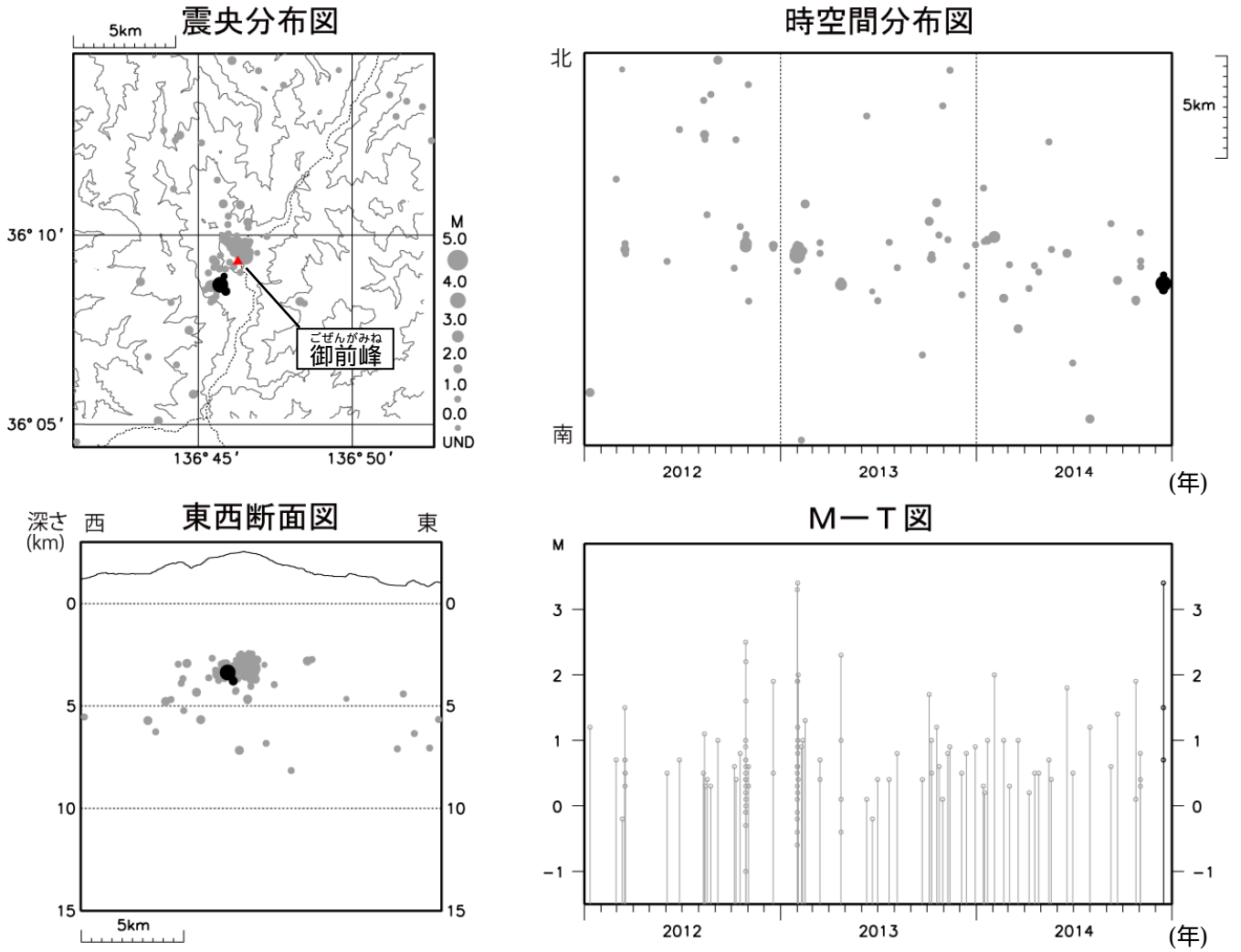


図5 白山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動
(2012年1月1日~2014年12月16日09時)

: 2012年1月1日~2014年12月15日 : 2014年12月16日00時~09時

M (マグニチュード) は地震の規模を表します。

図中の震源要素の一部は暫定値で、後日変更することがあります。